

4

働くことへの 手助け

- ▶ 皆^{みな}さんが働^{はたら}くことができるよう、いろいろな手^て助^{だす}けをします。
- ▶ 障^{しょうがい}害^{がい}があっても会^{かい}社^{しゃ}で働^{はたら}く人^{ひと}が増^ふえるようにします。
- ▶ 職^{しょくば}場^ばでの差^さ別^{べつ}や虐^{ぎゃくたい}待^{たい}（無^む視^しやい^いじ^めなど）をなくしていきま^す。
- ▶ 障^{しょうがい}害^{がい}のある人^{ひと}がた^たく^さん働^{はたら}くこと^{こと}がで^できる、「特^{とく}例^{れい}子^こ会^{かい}社^{しゃ}」とい^いう仕^し組^くみ^みを^を広^{ひろ}げていきま^す。
- ▶ 身^み近^{ぢか}な地^ち域^{いき}で仕^し事^{ごと}をみ^みつ^つけるた^ため^めの^の相^{そう}談^{だん}が^がで^できるよ^ように^にし^しま^す。
- ▶ 会^{かい}社^{しゃ}で働^{はたら}くこと^{こと}が難^{むずか}しい人^{ひと}のた^ため^めに、手^て助^{だす}けを受^うけ^けな^なが^がら働^{はたら}くこと^{こと}が^がで^できる^る福^{ふく}祉^しサ^さー^ービ^いス^すを^を用^{よう}意^いし^しま^す。
- ▶ 働^{はたら}くた^ため^めの手^て助^{だす}けとあ^あわ^わせ^せて、障^{しょうがい}害^{がい}年^{ねん}金^{きん}や福^{ふく}祉^し手^て当^{あて}など、生^{せい}活^{かつ}のた^ため^めに必^{ひつ}要^{よう}な^なお^お金^{かね}を^を受^うけ^と取^とれるよ^ように^にし^しま^す。

